

CONTENTS

- 今年も好評 大和田幼稚園のお別れモチつき大会(3面)
- 初の大和田杯争奪ソフトボール大会、近畿の中学参加(4面)
- 落語家の桂 あやめさんが講演(5面)
- 国際大卒業生と元留学生が国際結婚(6面)



グローバルマインド
 発行(学)大阪国際学園広報室
 〒570-8555守口市藤田町6-21-57
 ☎06(6902)0787(代) FAX06(6902)8961
 Eメール:koho@hq.oiu.ac.jp

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)
 大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)
 大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

編集手帳

▽27年。あれからそんなに経つのか、いやまだその程度なのかという思いが錯綜する。考古学上戦後最大の発見とされる奈良・高松塚古墳の極彩色壁画の出現から約30年マダマ的な報道合戦に批判の声もあつたが、あてやかな人物像は「飛鳥美人」として多くの人々に強く印象づけられた。その後の発掘ニュースはやりやりに火をつけた。鳥取・妻木晩田遺跡、奈良・黒塚古墳やキトラ古墳と話題遺跡の現場見学会は長蛇の列で発掘で大発見が相次ぎ、これまでの常識が覆える。教科書や辞書づくり担当者悲鳴が聞こえそう。不透明な時代が依然つづくなか、「未来を解くカギは過去にある」とすれば、考古学に寄せる期待はなくなりそうにない。(宗)

6号館 (大和田キャンパス) 完成



情報・図書館棟として、平成9年8月1日から建替え工事が進められてきた女子大・短大1号館の東半分がこのほど6号館として完成。竣工式が3月30日、学園関係者や工事関係者、近隣住民代表らが見守るなか新館で行われ、4月からさっそく威力を発揮している。

建物概要は鉄筋コンクリート6階建、地下1階、延床面積約6千平方メートル。外観は同キャンパス学舎の統一イメージに合わせたモザイクタイル張り。施設的には身障者に十分配慮されている。地下は喫茶室(約90席)や多目的ホール(約80席)、LILYホールや国際交流センターが

情報・図書館棟として、平成9年8月1日から建替え工事が進められてきた女子大・短大1号館の東半分がこのほど6号館として完成。竣工式が3月30日、学園関係者や工事関係者、近隣住民代表らが見守るなか新館で行われ、4月からさっそく威力を発揮している。

建物概要は鉄筋コンクリート6階建、地下1階、延床面積約6千平方メートル。外観は同キャンパス学舎の統一イメージに合わせたモザイクタイル張り。施設的には身障者に十分配慮されている。地下は喫茶室(約90席)や多目的ホール(約80席)、LILYホールや国際交流センターが

情報・図書館棟として威力

約2500名を新たに迎え新学期スタート

春らしい穏やかな風が吹き、桜の開花が伝えられるなか、学園の各学校で入学式が次々に行われ、総勢2464名の新入生たちが希望に満ちた学園生活に入った



好天に恵まれた国際大の青空入学式

屋外ステージに歓喜の顔 (国際大)

国際大の入学宣誓式が4月2日、快晴の野外ステージで行われた。昨年は悪天候のため、実施できなかったアメリカのカレッジ式典スタイルの青空入学式が今年は見事に成功し、関係者らを喜ばせた。

入学者数は、大学院経営情報学専攻博士課程5名・修士課程8名・大学院総合社会科学専攻4名・専攻6名・国際政経専攻4名・経営情報学部340名・同学部編入生18名・政経学部258名・同学部編入生3名・留学生別科35名の計677名。

学長式辞、理事長祝辞のあとに学友会長の高松純一さん(経情2)を中心に学友会員らがステージに上がり、学歌を紹介し閉式となった。

新入生は式の後、漢字学力テスト、英語学力テストを受け、体育館で学友会主催の新入生歓迎会に参加、各クラブから熱烈的な勧誘を受けた。また、保護者に大学への理解を深めてもらうとうとうこの日、保護者との懇談会・懇親会が行われた。

女子大・短大では4月3日、入学宣誓式が奥田メモリアルホールで行われ、会場に入り切れないほど多くの保護者らも参加された。

新入生と留学生とで宣誓(女子大・短大)

まず女子大の入学宣誓式が行われ、入学者数は社会コミュニケーション学科120名、国際コミュニケーション学科132名、人間健康学科132名、スポーツ行動学科84名、スポーツ行動学科103名(うち留学生11名)、編入学生のコミュニケーション学科15名、国際コミュニケーション学科16名、人間健康学科17名、スポーツ行動学科8名(うち2回生の編入1)の計495名。続いて短大の入学宣誓式が行われ、入学者数は家政科161名(栄養士コース119名)、幼児教育科208名(保育コース142名、音楽コース34名、体育コース32名)、国際文化科272名(国際ビジネスコース173名、情報ビジネスコース99)の計641名。

女子大・短大とも入学宣誓を新入生と留学生の二人で行い、大学生活に向けての決意を述べた。最後は恒例となった林 泉弦楽四重奏団による祝曲演奏で幕を閉じた。

4月5日からは新入生オリエンテーションがあり、7日から8日にかけて各学科ごとの学外オリエンテーションもそれぞれ行われた。

中・高は4月8日に入学式

滝井高校、大和田中・高校でも4月8日、入学式が各校で行われ、真新しい制服姿の新入生が緊張した面持ちで式に出席。滝井高校は午前8時、大和田中・高校は午後からで、入学者数は滝井高校283名、大和田中55名、大和田高校244名。それぞれ期待と不安に胸を膨らませながら学校生活の第一歩を踏み出した。

目立った入園式でのビデオ・カメラ

大和田幼稚園では4月7日

今秋(11月6日予定) 学園創立70周年記念式典

平成11年度は学園創立70周年の大きな節目にあたるため、学園に「学園創立70周年記念事業委員会」(委員長、奥田吾朗理事長)を設け、同委員会のもとに実行委員会を具体化を図っているが、概要が固まってきた。

当初、3実行委員会で行うとしていた「学園創立70周年記念式典」(田中祥夫委員長)と「女子大・学科増設、情報・図書館棟竣工披露」(柴宗雅子委員長)はその後、

前理事長 彫像建立、記念誌発刊等事業

一体化した上で4分科会に分かれてそれぞれのテーマを検討。それら諸案を3月10日の記念事業委員会に中間答申し、承認を得た。主なものは①70周年記念式典は11月6日(土曜日)に大和田キャンパスで挙行政②奥田省吾前理事長の彫像(胸像2体)を募金で制作。制作は学園と縁の深い日高正法氏(二科会所属)に依頼する。③学生・生徒・園児対象事業としてマスコットや愛称を募り、ロゴマークの制作などを検討④竣工したばかりの女子大6号館(仮称・情報・図書館棟)を70周年記念式典参加者に披露する。⑤一方、「学園創立70周年記念誌編集実行委員会」(藤江宗一委員長)は、記念式典までに完成させる目標で、約180頁の記念誌を編集している旨中間報告を行った。

女子大6号館披露も

一体化した上で4分科会に分かれてそれぞれのテーマを検討。それら諸案を3月10日の記念事業委員会に中間答申し、承認を得た。主なものは①70周年記念式典は11月6日(土曜日)に大和田キャンパスで挙行政②奥田省吾前理事長の彫像(胸像2体)を募金で制作。制作は学園と縁の深い日高正法氏(二科会所属)に依頼する。③学生・生徒・園児対象事業としてマスコットや愛称を募り、ロゴマークの制作などを検討④竣工したばかりの女子大6号館(仮称・情報・図書館棟)を70周年記念式典参加者に披露する。⑤一方、「学園創立70周年記念誌編集実行委員会」(藤江宗一委員長)は、記念式典までに完成させる目標で、約180頁の記念誌を編集している旨中間報告を行った。



今年も元気な園児たちが入園

ジーロングラマー校 (オーストラリア)



チャールズ皇太子も留学されたジーロングラマー校。海外から多くの留学生が在籍している。

の学舎に1,600名の男女生徒を有しています。ジーロン校はしっかりとした基盤をもつ大きな学校群とも言える学園の総

最大の特徴は、ハイトン学舎の一部の生徒を除いてほとんどの生徒が、中学3年次をタイムパトトップ学舎(ヴィクトリア州

4つの学舎の中心に位置するのが、本校と姉妹校関係にあるジーロン校ですが、中学・高校を持ちコライオ学舎と呼びます。他にグラモガン学舎、ハイトン学舎には保育部から中学部があります。このジーロン校の

オーストラリアを代表する名門校

学校の運営は、非常にきめ細かに行われており、あらゆる能力のある生徒の入学を許し、正式な入学試験はありません。学期は4つに別れ、定期テストは年2回行っています。

ヴィクトリア・アルプス山脈山麓にある)に在籍し、段階的に厳しさを増す野外活動により、

寄宿舎制度は、自律と他者との協調の態度を養うことを主眼としており、ほとんどの生徒が寄宿舎生活で、そでない生徒も昼食と夕食を学校で食べ、学寮で次の日の予習を個別指導教官のもとで行い帰宅します。その際、重点が置かれています。

教育の土台が、英国のパブリックスクールそのもののようにすが、最初の部分で述べたようにまさに国際学園で、本校の誇る姉妹校の一つです。

1885年にジーロン(メルボルン市南西70キロ)中心部に男子校として誕生、現在4つ

(大阪国際大和田中・高教諭 国際交流担当主任 高原正文)

「はたちのメッセ」で市会議長賞

京都市・京田辺市教委

日本で成人式を迎えた韓国からの留学生・石 允熙(ソク ユンヒ)さんが、「成人式はたちの言葉」一筆啓上(京都府・京田辺市教育委員会主催)で、市議会議長賞を受賞した。石さんは、柳韓専門大学からの留学生で、昨年9月から国際大留学生別科で学んでいる。京田辺市内のホームステイ先の「母」に

「韓国の本当のお母さんのようにやさしくて、早く大人になってお母さんのありがたさに報いたい。いつまでもどうぞお体を大切になさってください」と感謝の気持ちを綴った。

作品は、1月15日、田辺中央体育館で開かれた成人式で披露され、石さんは、あでやかなチャ・チョゴリ姿で壇上に上がり賞状を受け取った。

OIUで初の留学生スピーチコンテスト

国際大で1月20日、本学の留



留学生スピーチコンテストでグランプリに輝いた韓国の石 允熙さん

学生による「スピーチコンテスト」お国の自慢と疑問」を実施。これは留学生、日本人学生がそれぞれの考えを主張することによって、各国について知識を深めてもらうことを目的に、

大阪国際大 模範行為者表彰

平成10年度

- ▼金子晃久(経情4) (連続3期にわたり学友会会長として活躍)
- ▼北岸丈雄(齊藤美千代(以上経情4) (日本商工会議所簿記検定試験2級合格) ▼亀井佳彦(経情4) ▼弓場大地(経情3) (初級システムアドミニストラータ試験合格) ▼北本規雄(経情3) ▼井上悠(政経3) (関西学生男子ラクロス2部リーグBブロックベスト10プレーヤーに選出) ▼高木良之(経情1) (第二種情報処理技術者試験合格、日本商工会議所簿記検定試験2級合格) ▼辻耕太郎(政経3) (行政書士試験合格) ▼村井 裕(経情1) (関西学生男子ラクロス98年度新人戦最優秀選手賞受賞) ▼原口真紀(政経4) (関西学生女子ラクロス3部リーグベスト12プレーヤーに選出) ▼谷川拓磨(政経1) (関西学生選手権水泳競技大会3部男子100m自由形及び200m自由形両種目とも第2位入賞)

大阪国際女子大 学長表彰

平成10年度

- ▼泉 小百合(岩本実千(美馬幸恵(以上コミ3) (秘書技能検定準1級合格) ▼江見 翼(スポ2) (初級システムアドミニストラータ) ▼ワープロ検定2級合格)

国際交流部が企画した。

第1回目の今回はモンゴル、韓国、台湾の留学生4名と対象外の日本人学生1名のあわせて5名が出場した。

コンテストでは、それぞれ各国の文化的背景を通し、自国の素晴らしさと、日本と比較して疑問に思ったことを日本語で弁論し、見事グランプリに輝いたのは京田辺市教委主催の事業でも入賞した韓国の石 允熙(ソク ユンヒ)さん。また、審査員特別賞に中国の劉 希望(リュウ キボウ)さんが選ばれた。

直言

最近皆さんも新しい路面電車LRTのニュースに接する機会が増えたのではないのでしょうか。Light Rail Transit 軽快電車、スーパー市電、高速路面電車などと訳されますが、重量が軽い、挙動が軽快な動きのトラムのことを意味しています。欧米諸国、特にドイツ、フランスなどではLRTが快適な市民の足として親しまれ、町の重要な交通手段となつていきます。日本でも熊本・広島でLRT低床式車両が導入され、新しい路面電車の時代が開きだしたのです。



新しい公共交通手段LRT

交通科学研究所長 長山 泰久 (大阪大学名誉教授)

車の渋滞で街が衰退しかねなかったフランスのグルノーブルやストラスブールでは、近代的でスマートな低床式車両の導入で人々が嬉々として

Tの導入が計れないものかと、昨年6月に「枚方・LRT研究会」が発足し、導入に向かつての研究活動を始めています。枚方のような狭い道路に走

はこれまた狭い道路を走っています。狭い道路では一方通行や交互交通を取り入れられ運行を可能としています。人間の叡智を働かせて可能性を追求していくことができるのです。



奥田政三教育研究基金奨学生

平成10年度

- ▼鍛冶奈緒美(山下利枝子(以上女子大コミ4) ▼平林美代子(同人健3) ▼鳥永かおり(藤井裕恵) ▼宮岸菜津美(宮本知枝(以上短大国際2) (国家試験一般旅行業務取扱主任者資格取得) ▼武田寛子(女子大コミ4) (実用英語技能検定準1級合格)

奥田政三教育研究基金奨学生

女子大フリンダース大学派遣留学生

- ▼吉野麻衣子(小百合) ▼大西千晴(塩坂千英) ▼田守美哉子(堤千恵子) ▼福田あき子(以上コミ3) ▼田中さやか(山本祥子) ▼好川奈々(以上国際コミ2) ▼短大クライストチャーチ・ポリテクニク派遣留学生 ▼大村はるか(高垣祐子) ▼中森知子(大野教子) ▼益山美幸(宮崎恵美) ▼山田礼加(山前智恵美) ▼吉本香(阿部操恵(以上国際1) ▼大和田高(ジーロン・グラマースクール派遣留学生 ▼宮田麻里子(福岡朝美) ▼山内彩代(以上1) (敬称略)

留学生レポート

インターネットを駆使する米の学校

大阪国際大学 経営情報学部4年次生 福井 三徳

アメリカでのインターネットの日常への浸透性は日本に比べかなり進んでいる。家庭、小学校、バスや電車の駅、空港、図書館、大学の寮、どこにでもインターネットが使えるコンピューターがあり、誰でも使える。

中でも小学校では驚いた。ある日、エルミラ大学の近くにある公立の小学校に行った。生徒は日本についてあまりよく知らない、中国の一部と思っているらしい。その中で何人かの生徒が教室からインターネットを使って日本に関する情報を検索していた。富士山や歌舞伎の写真を見ながら「COOL」と何度も言っていた。疑問を持った時に即座にして情報を得ることが出来る。その小学校には各教室に1台ずつ、図書室に5、6台ほどインターネットに接続できるコンピューターがある。

大学でもインターネットはみんな使っている。講義にはもちろんだが、チャット、メールは欠かせない娯楽だ。やりすぎて退学になる学生もいる。

大学レベルではアメリカと日本の違いは小さい。OIUでもたくさんの学生がアメリカの大学生と同じ事をしている。しかし小中高校レベルで大きな差がある。アメリカでは若い世代がインターネットをもっと使っている。そして彼らが新たなネットワーク社会を作っている。

(平成9年8月から10年5月まで米エルミラ大学に交換留学)

皆さん! 一緒に頑張りましょう

大阪国際女子大学 スポーツ行動学科2回生 唐 菱雲(タン リンイン)

台北の短大で遊び過ぎたため、後期の総テストが出来ないのを知って、結局学校を退学することになりました。このことが私の靴箱にずっと残り、いつか絶対にもう一度大学に入り、そして卒業したいと思っていました。

12年前に日本に勉強しに来た事があって、その後兄の会社などで働きましたが、最後には人材派遣会社で日本人駐在員たちに中国語を教える事が一番面白くなりました。そのため「同時通訳者の特訓」の授業を受けて、そこで自分を見直して、もっと日本語の勉強をしなくてはならないと再び日本に来てこの大学に入りました。

あれから2年が過ぎ、もうすぐ3回生になりますが、この前不意に同級生の会話を聞いてしまった。ああ、12年前の私みたいに「目的がない」勉強をして、将来の目標は何かを全然考えずに過ごしている。「すごく惜しい事ですよ」と言いたかった。だから、今ここで皆さんに言いたいと思います。それは両親から高い授業料を払ってもらって勉強する事が親にとってどんなに大変な事かもっとわかって欲しい、もっと将来の事を真剣に考えて欲しいということです。そして、卒業するまでしっかり勉強して欲しいと思います。皆さん、ぜひ最後まで一緒に勉強しようね!

('97年4月 台湾より本学に留学中)

第11回グローバルマインド賞 受賞作品

グランプリ賞
サブテーマ
「エビから見た世界と私」
神奈川県 県立小田原城内高等学校2年
杉山 優子

準グランプリ賞
サブテーマ
「心の目で見る」
米国 ヒュリッパ高等学校1年
中山 智佳子

毎日新聞社賞
サブテーマ
「包み込むように」
北海道 立命館大学慶祥高等学校1年
生田 秀

佳作(受付番号順)
サブテーマ
「映像で文化交流を」
福岡県 福岡雙葉高等学校2年
岩島 桃子

サブテーマ
「ともに生きるパートナーとして」
徳島県 県立池田高等学校2年
松浦 幸司

サブテーマ
「夢いっばいの科学・科学館を
世界中の子どもたちに」
奈良県 奈良学園高等学校2年
中橋 佑介

サブテーマ
「帰国子女(!?)として」
静岡県 県立葦山高等学校2年
筒井 麻衣

サブテーマ
「共生する二十一世紀に向かって」
東京都 白百合学園高等学校3年
沖 恵梨

サブテーマ
「心と目」
栃木県 県立宇都宮北高等学校2年
黒崎 美里

サブテーマ
「国境を超えて」
東京都 東京学芸大学教育学部
附属高等学校大泉校舎3年
太田 彩子

学校賞 該当校なし

第11回グローバルマインド賞「決定」

グランプリ賞に杉山優子さん

(神奈川県立 小田原城内高校)「エビから見た世界と私」

11回目を迎えた「グローバルマインド賞」(大阪国際学園・毎日新聞社共催)は昨年度の974編を大きく上回る

1206編の作品を集め、悲願であった1000編突破の目標を達成した。3度にわたる学内審査を通過

した10編が、昨年12月16日の最終審査会に進み、梅棹忠夫氏(国立民族学博物館顧問)、大島 靖氏(大阪国際交流センター会長)、岡本道雄氏(国際高等研究所前理事長)、森 毅氏(京都大学名誉教授)の先生方の審判を待った。

最終審査会では、冒頭各審査員より「いつもなら突出した作品とそうでない作品の差があり、選出し易かったが、今年ほどの作品もレベルが高く絞りきれない」との悲鳴が上がった。審査ではまず、家業の鮮魚店から魚を手がかりに飽食、生態系の保護、資源の保存といった地球的テーマに話を展開させた杉山優子さんの「エビから見た世界と私」が審査員の心を捉え、ついで中国から日本へ帰化し、さらに米国への留学と短期間に様々な国の文化を体験し、それぞれの国に思いを馳せた中山智佳子さんの「心の目で見る」、パキ

世界一の笑顔



ユーモアたっぷりに
笑いの効用を説く昇氏

女子大・短大「生涯健康講演会」で昇幹夫さん

女子大・短大生涯健康研究所主催の「生涯健康講演会」が12月2日、奥田メモリアルホールで行われた。第4回目を迎えたことには、「あなたの笑顔、

なにより薬」をテーマに、日本笑い学会理事で三宅病院副院長の昇 幹夫氏を講師に招いて開かれ、地域住民ら約250名の方々が参加された。笑いの医学的効用を研究し、前向きな楽しい極楽トンボの生

滝井高校で恒例の「選抜カルタ会」

滝井高校で1月16日、予選を勝ち抜いた各学年上位10名の計30名による選抜カルタ会

き方が、高齢社会をダイヤモンドエイジにする長生きの秘訣と説く昇氏は、これまで「笑いと健康」「笑いは百薬に勝る」などの著書を出している。また、大阪の御堂筋パレードに素人130名を集めて笑顔ちゃんどん屋(珍首領屋)を作り、大阪の町中を行進したことも有名。講演では、「笑うと皆さんいい顔をしています。毎朝鏡を見て『世界で一番きれいな笑顔は私』と言って下さい」と会場から笑いを誘い、「おはようからおやすみまで笑顔が一番!笑って、死ぬまで長生きしましょう」と締めくくられた。

が開催され、会場となった大教室は生徒たちの歓声が終始響きわたって大いに盛りあがった。カルタ会は毎年恒例の行事として始業式に行われており、この日のために冬休みに練習を積んでくる生徒たちも多い。1月16日はこの予選を勝ち抜いてきた生徒とあつて、皆レベルが高くて「ここまで来たからには絶対優勝」、「予選で敗れた友達のためにも頑張る」など気合いの入った声が上がった。

見事優勝したのは3年生の石田恵理さんで、2位に倍以上の差をつける余裕の勝利だった。また滝井高校同様、大和田中・高校でも恒例のカルタ会を実施。本校のカルタ会は予選がなく、中学が1月21日、高校が1月23日に行われ、優勝したのは中学が1年生の山田千恵さんと2年生の鷹取 舞さん、高校が2年生の門 みどりさんで3人とも見事な腕前だった。

クリスマス会に大歓声 大和田幼稚園「お別れモチつき大会」も



大はしゃぎしながら餅を振りあげる園児たち

クリスマスを一週間後に控えた12月18日、大和田幼稚園ではクリスマス会が行われ、一つにもまして園児たちの元気な声が教室中に響きわたった。クリスマスツリーが飾られたこの日、園児たちには内緒で大和田高校の「Marie」教員がサンタクロースに扮して登場。各教室を訪れ、一人ひとりにプレゼントを手渡した。大喜びの園児たちから「どここの国からきたの?」、「トナカイは?」など素朴な質問が飛び、たじろぐサンタの姿も……。保護者からも好評で「子供の頃に戻ったみたい」、「今後も続けてほしい」などの声がたくさん聞かれた。最後に、各クラスごとサンタと一緒に写真を撮り、クリスマス会は閉会となった。

資格取得者

国際大 (敬称略)
第二種情報処理技術者試験合格者
経情1 高木良之
行政書士試験合格者
政経3 辻 耕太郎

作品にグランプリ賞が、「中国・日本・アメリカの文化を経験し、地球人のなりたいたいという心の揺れを素直に表現している」という点が評価された中山さんに準グランプリ賞が贈られた。生田さん、筒井さんの作品はほとんど優秀がなかったが、「P21E」を使った新しいコミュニケーションでの異文化体験はこれからの新しい国際交流の在り方ではないか」という点から生田さんに毎日新聞社賞が決定し、その他7作品は紙一重で佳作にとどまった。また、学校賞は今回選定基準に達する高等学校がなく、受賞は見送られた。

この結果を基に12月22日に毎日新聞全国版にて受賞者を発表、同日付地方版では各受賞者の喜びの声を掲載、さらに27日には3賞作品を紙上で紹介した。賞状・盾・副賞は年内に受賞者へ発送し、杉山さんの受賞作品を含む入選10作品は応募者一覽とともに小冊子にまとめ、参加賞とともに2月下旬応募者へ応募高校に発送された。

白熱した議論の末、海外経験もない中で、自分の身近な「エビ」という問題から、国際問題・環境問題へと発展させた視点の素晴らしい」として杉山さんの

日商簿記検定試験2級合格者
経情4 北岸丈雄 齊藤美千代
同1 高木良之
初級システムアドミニストレーター試験合格者
経情4 亀井佳彦 同3 弓場大地
TOEIC 団体試験 (11月14日実施)
550点以上は次の通り。
経情3 中原香里 同4 松本裕樹
女子大・短大
一般旅行業務取扱主任者試験合格者
女子大コミ4 山下利枝子 鍛冶奈緒美 同人健3 平林美代子
短大国際2 藤井裕恵 宮岸菜津美 宮本知枝 鳥水かおり
国内旅行業務取扱主任者試験合格者
女子大コミ3 塩坂千英 同コミ4 鍛冶奈緒美 短大国際2 近藤さおり 土肥慶子 山中温子
TOEIC 団体試験 (9月18日実施)
49人中400点以上は8人。



大阪国際女子短期大学
国際文化学科助教授
佐中 明雄 著

「為替市場の読み方」

講談社現代新書

1997年7月のタイ・バーツの下落が、東アジア全域における通貨金融危機へと拡大し、「世界の成長センター」と称されたアジア経済の低迷が顕著となるなど、世界経済は大きく揺れ動いている。このような中で、従来以上に外国為替市場の動向への関心が高まりをみせている。しかし、外国為替市場の仕組みは、極めて複雑多岐にわたり、その全容の把握は従来から大変困難であるとされてきた。本書は、外国為替の理解には、投機



性とテクニカル性という2大要素の理解と、短期・中期・長期的な経済の流れの見極めが不可欠であるとの認識に立ち、ドル・円の歴史を中心に戦後の世界経済の推移をふまえたうえで、外国為替市場のメカニズムの積極的解明を図った意欲的著作である。外国為替市場の変動と予測に関する伝統的な諸学説や分析手法の発展史をたどり、それぞれの抱える有効性と問題点を指摘するとともに、金融新技術や世界の為替・デリバティブ市場の動向について詳述している。本書の全体を通じて、著者の豊富な取材経験や情報、20年にも及ぶ地道な調査・研究に依拠した、外国為替市場の変動要因と意味付けに関する鋭い指摘が随所にみられ、大変興味深い内容となっている。外国為替の専門家やビジネススマン等にとって読み応えのある力作であることはいままでもないが、初めて、外国為替を学ぶ者にも、総合的理解が得易いように、基礎知識の解説など十分な工夫がなされており、正に必読書であるといえよう。

(評者・大阪国際女子短期大学 国際文化学科助教授 桂 猛)

女子大スボ2 江見 翼
第31回パソコン検定3級合格者
女子大コミ2 小山朋子 山神 足有 紀江 同国際コミ1 角山 明代 同2 永岡陽香 同スボ2 井上久美 短大国際1 栗林陽子 山下加世子 京林史乃 同2 竹村みどり 栄 美鈴 河合恵子 木村由香
第2回英検2級合格者
女子大コミ3 白藤ミカ 短大国際1 坂本明美
第56回秘書技能検定準1級合格者
女子大コミ3 岩本実千 美馬幸恵
同2級合格者 45人
平成10年度初級システムアドミニストレーター試験合格者

平成11年度入試

予想外の一般二次入試の大幅減と 定着率の上昇 志願者確保に全学的検討

大阪国際大

平成11年度入試については、全ての選考を終えて志願者数が両学部合わせて(留學生入試を除く)昨年度比約42%減という厳しい状況であった。推薦入試の減少は小幅に止まったが、一般二次入試の志願者の落ち込みは予想外であった。原因としては、高卒者の減少、文低理高人気という中で、景気の低迷による私学離れと志願校の絞りこみが一層進み、また推薦合格者の定着率の高まりによる本学レベル受験層の減少が考えられる。

志願者減少傾向のなか 定着率は全般的に上昇 受験生のニーズ反映の入試を目指す

大阪国際女子大・短大

平成11年度入試を振り返って

昨年10月、大学・短大の特別推薦、11月には公募推薦、また、今年2月には一般入試(大学は3月にII期)を実施した。いずれの試験も前年志願者を大幅に下回る結果となった。志願者そのものは少子化、女子大の人気薄等の影響から減少傾向にあるものの、全体的に見ると受験者の定着率は上がっている。

短大では指定校を含む特別推薦での学生確保(専願受験)が薦で、この点、該当する社会コミュニケーション学科の紹介で今一つ訴求力に欠けていたこと、

うな入試改革を行ったとしてもそれは一側面だけで、大学の身を充実し、魅力ある大学にしていく努力とあわせてこそ志願者、入学者を確保できるのであり、その対策も含め全学的な態勢のもとで検討されているところである。

(大阪国際大学
入試室長 小西康弘)

他の学科においても内容的な魅力を伝えていくことが不十分だった点を反省している。

度はこうした受験生のニーズを反映させ、教育・サービスに徹する入試を目指していきたい。

たが、少子化と経済不況、合わせて入試制度の変更で、女子の公立高校入学率が高くなり、私立女子高校の募集は苦戦でありました。

校名変更以来最多の受験者 専願率は低下

大阪国際滝井高校

府内中卒者数が昨年比2,800名減、女子を意識した公立の新学科設置、長期化する不況など、女子高に対する逆風の中、昨年より20名多い265名を目標に募集活動を展開した。今年重点的に取り組んだ内容は

- (1) 英語名の各コースの目標と内容を、昨年以上に浸透させること。
- (2) 保護者、教員向けリーフレット「Soft & Smart」を通じて、受験に関する情報を開示すること。
- (3) 生きる力を育てるため、本校独自の特色講座を強調すること。
- (4) 本校の知名度を上げるとともに、受験希望校としての指名を受け

るためアピールすること。

(大阪国際女子大学・短期大学
入試室長 武内一雅)

魅力ある学校づくりを

大阪国際大和田高校

昨年と同じく、270名を目標に募集活動を展開してきました

さらに増大した受験機会

大阪国際大和田中学校

今年も昨年と同じく、90名を目標に募集活動をしてきました

が、義務教育のうへ高校と同じく、少子化と経済不況、受験機会の多様化で、一人で4〜5校受験が普通という状況でした。

知名度が低く歴史の浅い大和田中学は苦戦の連続でした。一日も早く教育内容を充実して社会的評価を高めることと、今在学している生徒を一人一人大切に育てて社会に送り出すことの重要性を感じています。

が来て下さり、食事は大和田高のソフトボール部父母会が世話を下さいました。開会式から閉会式まで参加した、全中学生のマナーの良さときびきびした行動は見る者に感動を与えました。本校の奥田三郎校長の参加も大会を盛り上げました。



国際大での試験風景



大和田高校の試験会場に向かう受験生ら

大阪国際女子大	志願者数	合格者数
経営情報学研究科	18	15
総合社会科学研究科	13	10
大学院博士(後期)課程	8	5

大阪国際大学	志願者数	合格者数
経営情報学部	1,295	764
政経学部	816	589

大阪国際女子大	志願者数	合格者数
人間科学部	853	836

大阪国際大学	志願者数	合格者数
総合学部	956	888

大阪国際滝井高等学校	普通科		専願		併願	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
アカデミック(標準)	154 (177)	*156 (*183)	654 (642)	*667 (*653)		
グローバル(国際)	29 (45)	27 (39)	143 (124)	136 (116)		
エクセレント(特進)	15 (15)	13 (11)	115 (90)	108 (81)		
1.5次	4 (6)	4 (6)	- (-)	- (-)		
合計	202 (243)	*200 (*239)	912 (856)	*911 (*850)		

大和田高等学校	普通科		専願		併願	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
英数	50 (67)	34 (55)	389 (409)	315 (323)		
普通	65 (110)	*80 (*121)	370 (348)	*444 (*432)		
1.5次	8 (-)	8 (-)	26 (-)	26 (-)		
合計	123 (177)	*122 (*176)	785 (758)	*785 (*755)		

大和田中学校	普通科		専願		併願	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
1次	68 (82)	61 (61)				
2次	9 (20)	9 (17)				
合計	77 (82)	70 (78)				

ル部は、近郊の強豪中学と交流を深め、部のレベルアップを図るため、第1回大阪国際大和田杯争奪ソフトボール大会を開催しました。

校の中学校で、大阪からは、門真一、門真五、大久保、交野三、谷川、友呂岐、緑、新豊崎、淀川、撰津一、京都から嵯峨、榎原、兵庫から大庄北、大社、奈良から片塩の各中学校です。審判は門真市から15名の公式審判員



近畿各地の強豪中学が参加した第1回大阪国際大和田杯争奪ソフトボール大会

第1回大阪国際大和田杯争奪ソフトボール大会開催(大和田高)

近畿の15中学が参加、熱戦

全国優勝も狙える実力をつけてきた大和田高校のソフトボール部は、近郊の強豪中学と交流を深め、部のレベルアップを図るため、第1回大阪国際大和田杯争奪ソフトボール大会を開催しました。

- 大会は、暖かく、好天気に恵まれた1月31日の日曜日に、大阪国際女子大学グラウンドで21試合の熱戦が繰り広げられました。
- 参加校は近畿2府2県から15校の中学校で、大阪からは、門真一、門真五、大久保、交野三、谷川、友呂岐、緑、新豊崎、淀川、撰津一、京都から嵯峨、榎原、兵庫から大庄北、大社、奈良から片塩の各中学校です。審判は門真市から15名の公式審判員

- 国際大
軟式野球部
・9/3、11/6 西都大学1部秋季リーグ戦 2位
・11/12、16 第15回西日本大学選手権大会 4位
- 滝井高校
バレーボール部
・12/17、19 第17回近畿私立高等学校選手権大会 優勝
・12/20、23 全国私立高等学校校選手権大会 ベスト8
- 大和田高校
ソフトボール部
・11/15、23 第27回大阪府私立高校新人大会 優勝
ソフトテニス部
・1/16、17 近畿インドア大会 波戸良枝・谷口佳江 (以上2)ペア ベスト16

就職

来年度も一層厳しそつ

国際大 “砂の中の珠” を 見つける会社研究を

本年1月初旬の調査で、本学3月卒業予定者の就職内定率は79%、文部省の発表した全国平均80%とほぼ同水準です。例年本学の内定は文部省の数値とほぼ同じですが、女子学生の内定率は残念ながら文部省の数値より5%ほど下回りました。昨年10月以降追加求人とは殆どなく、今後の内定者数の伸びは期待できませんが、毎年卒業間際には「就職する」から「就職しない」に変更する学生が出てくることから、分母が小さくなる分、内定率は少し上がりませんが、100%はとうてい期待できません。

傾向としての「早期化」は今年も進み、3月にはかなりの企業で選考が始まります。「電子化」の波はもう止まらない。インターネットによる求人は何よりもコストダウンになるからです。この流れを掴んだ就職活動のポイント、春休みに、時間の許す限りパソコンに向かって情報の受発信をすることだと思っています。(大阪国際大学 就職室長 田中祥夫)

女子大・短大

最も厳しい就職活動を 強いられたい今春卒業生 積極的な学生には道が開けている

来年度卒業予定者の就職環境は当然のこととして極めて厳しく、ここ10年間で最も厳しいシーズンになると思われます。製造、銀行、証券、保険は軒並み早期退職を募り、賃下げもささやかれる中、新卒採用を復活出来る環境にない。小売業(自動車販売を含む)は消費低迷で出店が伸びず採用は減耗補充を大きくは出まらず。頼りに出来るのは低金利で潤う消費者・中小企業向け金融業、2000年問題で多忙なソフトウェア業界、取扱商品の幅が広がる商

この原稿の締切現在、まだ奮闘中の学生もあり就職状況の集計はまだ完了していませんが、今年度の就職戦線は日を追うごとに厳しさを増し、マスコミが超・超水河期と命名するに至りました。今春卒業する学生はこれまでで最も厳しい就職活動を強いられたいと思います。次年度卒業生については、前々号でも報告しましたように、既に10月からガイダンスを始め、就職関係課外講座を年内にひと通り終え、2月にフォローアップ講座を設けました。学生には

桂 あやめさん講演 学生らに「エール」 女子大・短大「女性学研究所」 女子大・短大女性学研究所が11月30日、落語家の桂 あやめさんを講師に招いて講演会を実施。テレビ、ラジオでお馴染みとあって、会場となった5号館2階202教室は約200名の学生、教職員でいっぱいになった。テーマは桂さんがモットーとしている「品よく・激しく」。「女やからできる!」というものをやりたいがため、師匠の車

の運転手をする条件に入門した桂さんの目標は、落語の世界で美空ひばりかユーミンのような存在になること。これまでにABC漫才落語新人コンクール最優秀新人賞、第1回「咲くやこの花賞(大衆芸能部門)」などを受賞。また、落語家仲間とニューヨーク、上海での海外パフォーマンス歴も持っている。着物姿で登場の桂さんは講演で、落語家入門した経緯を披露し「落語は自分のやりたかった職業。厳しい世界ではあるが、楽しく仕事をさせてもらっている」と話すとともに「何事にも



落語家らしく着物姿で講演する桂 あやめさん

OB・OGレポート

「安らぎ」と「潤い」をオフィスにお届け



私は近畿コカ・コーラボトリング(株)の100パーセント出資の会社である、株式会社レクシーで働いています。業務内容は、OCS部門(オフィス・コーヒー・サービス)とカード部門(テレフォンカード、交通カード等)とがあり、私が在籍している部門はOCS部門です。職場において安く、手軽に、便利においしいレギュラーコーヒーをご利用頂く事を目的とし、コーヒーメーカーを無料でお貸しし、コーヒー材料をお届けするサービスです。今ではほとんどの会社で幅広くご利用いただいています。仕事内容は営業で、新規開拓とルートセールスがあります。私の担当はルートセールスで定期的に、既存のお得意先を訪問する仕事です。そして、訪問した会社に必要分のコーヒーやお茶、飲料などをお届けしています。毎日が、いろいろな人との出会いがあり、とても楽しい仕事です。一日中、車に乗っていろいろな会社を訪問するので、ずっと椅子にすわっているのが苦手な人や、または営業なので人と話すのが大好きだという人には、とても適している仕事だと思います。自分が頑張れば頑張った分評価してもらえるので、やりがいのある仕事だと思います。社員数は約200名、平均年齢32歳と若く明るい楽しい職場です。

大阪国際女子短期大学 家政科'98年卒 株式会社レクシー 鶴見橋営業所 真鍋 智美

大阪国際学園 CALENDAR

大阪国際大学

大学院 経営情報学部・政経学部 留学生別科

- 4.2 入学宣誓式、英語学力テスト、保護者懇談会
4.5 新入生・在学生オリエンテーション(～6)
4.7 新入生履修オリエンテーション
4.8 前期授業開始
4.22 新入生フレッシュマンキャンプ(～23)
7.9 前期授業終了
7.12 前期補講(～13)
7.14 前期試験(～23)

大阪国際女子大学

人間科学部社会コミュニケーション学科・人間健康科学科

国際コミュニケーション学科・スポーツ行動学科

大阪国際女子短期大学

家政科・幼児教育科・国際文化学科

- 4.2 新入生登学日
4.3 入学宣誓式
4.7 新入生学外オリエンテーション(～8)
4.12 前期開講
7.16 前期終講
7.19 集中講義・補講(～22)
7.23 前期試験(～30)

大阪国際滝井高等学校

- 4.7 新入生登校
4.8 入学式、始業式
4.9 新入生オリエンテーション(～10)
4.30 1、2年遠足・3年進路研修
5.15 3年進路説明会
5.20 中間考査(～25)
5.26 球技大会
6.8 保護者会(～11)
6.21 コーラス大会
7.1 期末考査(～6)
7.14 修学旅行(オーストラリア)(～20)
7.16 修学旅行(カナダ)(～8/6)
7.16 修学旅行(北海道)(～21)
7.19 終業式
7.21 3年学習合宿(～25)

大阪国際大和田高等学校

大阪国際大和田中学校

- 4.7 入学式予行・クラブ紹介
4.8 入学式、始業式
4.9 新入生オリエンテーション(～10)
4.21 防災訓練
4.23 カナダ研修(～5/11)(高校)
4.28 遠足
5.15 PTA総会
5.18 中間考査(～21)
5.22 オーストラリアから生徒来校
6.19 芸術観賞
7.2 期末考査(～7)(高校2年)
7.9 期末考査(～15)(高校1、3年)(中学)
7.10 修学旅行(～15)(高校2年)
7.21 林間学舎(～23)(中学)
7.28 学習合宿(～7/30)(中学)
7.31 終業式
8.2 カナダ語学研修(～8/19)(高校)

大阪国際大和田幼稚園

- 4.7 入園式
4.8 始業式
5.14 園外保育
6.6 日曜参観
7.3 音楽発表会
7.17 終業式
7.19 夏季保育(～23)

ヘッドラインニュース

- 11/3～15 女子大 人間健康科学科の橋本義郎 助教授が應典院(大阪市天王寺区下寺町)で写真展開催
11/19 女子大 スポーツ・健康学群「第2回特別課外講座」(講師はメーラン大学福祉研究所研究員のホーガン・カルブ氏)
12/1 女子大・短大 平成10年度第1回Teachers' Seminar-異文化理解- (講師は朱 捷 同志社女子大学助教授)
12/2,3 女子大 大西久光客員教授による講義
12/9 大和田中 第5回北河内地区中学校連合音楽会(枚方市メソナ枚方ホール)
12/11 女子大・短大 全学講演会(講師は大阪府立看護大学看護学部の末原紀美代教授)
12/17 短大 幼児教育科「第7回音楽コース演奏会」(ルミエールホール)
12/17 女子大 スポーツ・健康学群「第3回特別課外講座」(講師は関西大学工学部の吉田宗弘氏)
12/22 女子大・短大 販売士3級課外講座(講師は大谷女子短大専任講師の雑賀憲彦氏)
12/24 女子大 スポーツ・健康学群「アイススケート講座」(なみはやドーム・メインスケートリンク場)
12月 学園 理事の藤井兼六氏がオーストラリア国立タスマニア大学より名誉法学博士号を贈られた
平成11年
1/16～2/20 女子大・短大 (財)守口市文化振興事業団との共催による公開講座(女と男のFカレッジ)
1/20 国際大 教職員研修会、講師は京都橘女子大学の小野和子教授(テーマ「セクシュアルハラスメントについて」)
1/21 大和田中・高 エイズ講習会、講師はHIVと人権・情報センターの五島真理氏が(テーマ「輝く命・エイズを通して人権と共生を考える」)
1/31 短大 ルミエール音楽サロンVol.6「フルート吹きの休日」で幼児教育科の朝倉 洋 助教授が司会
1/31 大和田中・高 峰松茂美非常勤講師「週間釣りサンデー」の月間魚拓ダービーBig賞スキの部で1位
2/6 国際大 平成10年度前期入学留学生別科生修了式・単位認定書授与式及び修了パーティー
2/6 大和田高 3年生の小砂見志保さんが第42回書き初めコンクール(日本教育協会主催)で文部大臣賞を受賞(大阪市立美術館)
2/13 短大 幼児教育科音楽コース「第13回卒業演奏会」
2/17 大和田高 「神戸ルミナリエ'98写真コンテスト」で岡田 哲教諭の作品「月の散歩」が入選
2/22～27 女子大・短大 学友会スキー講習会、長野県の梅池高原スキー場へ
2/24 国際大 「第10回スポーツメディア(カル)講習会」開催、講師は政経学部の蛭間栄介講師(テーマ「テーピングについて」)
3/4～5 国際大 平成10年度リーダーズトレーニング(グリーンビレッジ交野)



豊かな心で智・情・意の葛藤解消を

大阪国際大学学長 西田俊夫

新入生の皆様、御入学御目出度うございます。御来賓の方々、保護者の方々、御多忙中を入学式に御参列頂きお慶びとともに厚く御礼申上げます。

本学は昭和63年に開学致しましたが、最初は経営情報学部と国際関係研究所だけで発足しました。その4年後に、政経学部と留学生別科が増設されました。さらにその後、大学院として経営情報学研究所と総合社会科学研究所も設置されました。

平成10年3月に本学は創設10周年を迎えました。そこで10月には10周年記念式典が開催されました。そのとき記念植樹した楷の木は雄雄と、皆様のおられる両側に植っており、本学の行く末を永く見守つてくれます。

ご入学おめでとう (学長あいさつ)



豊かな学生生活と社会人への備え

大阪国際女子大学・短期大学学長 奥田吾朗

まずはご入学をお祝いし、歓迎します。大学生となられたからには、明確にその自覚を抱いてください。つまり大学生となられたからには、自ら学ぶべきものを探り、目的を持って学び、学生生活を過ごしていただきたいと思ひます。

規制緩和、自己責任、非常識の常識、皆様も新聞や雑誌等で日々目にされているように、21世紀を目前にわが国で声高に叫ばれている時代のキーワードです。

このように本学は開学以来10年間、途に拡大路線を辿つてまいりました。しかしその間に我が国はバブルが崩壊し、すべての面で大変革期を迎えております。そこで本学でも、

量的拡大から質的充実への転換方策をとる時機に到つたと判断致します。今年の新入生諸君から大幅なカリキュラムの改革が行われました。

従来の専門科目と教養科目の名称を廃止し、内容を再編成して、新たに学部科目と全学共通科目が設けられました。全学共通科目の内容は、従来の教養科目での人文、社会、自然という古い分類を完全に脱却して、ライフアンド・コミュニケーション科目群、グローバル・マインド科目群、

もつて、諸君の反応に適切したいと考えております。皆様方が成長された時代は、我が国の高度経済成長期だと思われれます。したがって物質的には極めて豊かな成長期を過ごされたと拝察します。しかし、物質的な豊かさとは逆に、心の豊かさは却って失われていったのではないのでしょうか。ここで心の豊かさを取り戻すように諸君にお願いしたい。心の豊かさは、他人を思いやる心、相手の身になって考える心が基本となります。すべてを幅広く受け入れる豊かな心を養成して頂きたい。

開くことが求められる時代へと急速に変化し、新世紀は一段と加速するだろうといわれています。ここに入学された皆様は、否応なくそうした時代に生きられるわけで、また新世紀

をしつかり担う主人公になつていただきたいと願うものです。大学生活を豊かに彩ることは、人生そのものを豊かにする要素でもあります。勉学に励みながら、

分の道を自らの責任において開拓する力、賢明さを十分に培つて下さい。そうすれば自ずと、卒業時の

卒業式の学科代表 (短大家政科)は

居酒屋ママ

短大で社会人として学んでいた門之園幸子さん(54歳)が、家政科生活文化コースを首席で卒業、3月18日の卒業式に、学科代表として卒業証書を受け取った。門之園さんは、大阪キタで居酒屋を営むと語り、早朝店の掃除をしてから短大へ。夜の店の仕事はアルバイトを雇い週2回に減らしてもらったというが、本人の意志の固さと、ご主人の理解あつてこそ実現したキャンパスライフだった。

「授業は1回も欠席しませんでしたよ。生活をどうと変えることは、たいへんでしたが、娘以上に歳の離れた学生たちに囲まれて楽しい2年間でした」と晴れやかな顔で話す。「若い頃に勉強ができたので、いつかは、と学費もコツコツためていました。主人は出してくれと言ってくれましたが、自分としては自分でしたい性分。石原慎太郎氏の奥様が、56か57歳で大学を卒業された記事を読んだことも励みになりました。」

ご主人の理解得て 欠席なし



今が最後のチャンスだと思います。娘達も「したいこと、を後悔するよ」と応援してくれました。

「心理学の授業は特に面白かったですね。人間相手の商売をしているし、会社勤めをし



ひと 大阪国際大学OB (1992年3月卒) 渡辺 純さん

外務省の専門調査員としてパキスタンに2年間駐在、アフガニスタン紛争についての調査に携わり昨年4月、帰国した。「身近に人が死んでいくのを見てきました。地雷が100万個も埋まっているところを、実際に逃げた人たちに對する精神的物質的サポートを、先進国といわれる日本がどういう形でできるのか。お金やモノをばらまくだけではだめ。しかし、現場の考えと政府あ

パキスタンに2年間駐在 (外務省専門調査員) アフガン紛争に携わる いつも逃れられないジレンマ

るいは国連本部の考えにはギャップがあり、常に葛藤があった。僕は、自分の意見を言い過ぎるイヤな奴だったでしょうね」 国際大1回生のとき、一般教養の文化人類学の虜になり単位をとつたにもかかわらず4回生まで授業に出ていた。その担当だった中川 敏 助教授(現大阪大学助教授)と心理学アプローチで異文化を研究する山岸みどり教授に影響を受け、2人の指導で卒業後は京都大学大学院人間環境学系へ。父の祖国・インドの文化が色濃く残るパキスタンで1年間のフィールドワークを行った。修士をおさめた後2年契約で外務省中近東2課に就職。周辺国に流れ込む難民に對する人道援助のあり方を、現場で調査するのが仕事だ。

「日本にいると戦争は遠いひとごとだが、こうやって生活していても爆弾や地雷がどこかで爆発していると思う。たたまた金のない国の人間は、経済的な豊かさと共に横柄さも身につけており、ドンドン底以下のレベルに自分を追いやることでやっとならぬ痛みがわかる。逆にのめり込み過ぎると自分を見失ってしまう。まさにアラビアのロレンスです。そんなジレンマから今も逃れられない」と話す。 国際大在学中は、休学しながらニューヨークのNGOに応募し、世界各地へボランティアへでかけたりした。「何かを人に知らしめたい、メッセージを持たせた生活をした」と考えていた。でも、そういう気持ちもなくなつてしまった」と静かに話す。疲れて冷め切つてしまつたわけではなく「そうは言つても、またメラメラと何かしたくな

交換留学生同士のカップル誕生 12月に披露宴 太平洋往來を重ね



OIUには現在13の海外姉妹校があり毎年学生の交換が行われているが、初めての交換留学生同士のカップルが誕生した。94年度にOIUからサンディエゴ州立大学へ留学した経営情報学部卒業生の福本 治さんと、93年に交換留学1期生として来学した米国クリストファー・ニューポート大学卒業生のサラ・バーネットさんの結婚披露宴が昨年12月19日、大阪堂島の全日空ホテルで国際色豊かに行われた。結婚に至る間、相手を追つてそれぞれ太平洋を越えた回数数を数えれば、お2人の絆の強さをうかがうことができる。福本さんはOIU卒業のあと再び留学、帰国後また渡米して職探し、サラさんはOIUから帰国、あつと再び日本に留学。そして日本企業での研修。何かと理由をつけては相手の

たこともあるので、実際経験したことを学ぶからか納得いくことが多かった」と振り返り、また機会を逃してしまつた。今が最後のチャンスだと思います。娘達も「したいこと、を後悔するよ」と応援してくれました。

現在、福本さんはワールドアクセス(各種カード会社などの顧客サービスを引き受けている会社)でカスタマーサービス係として、サラさんはアーサー・アンダーセン(大手経営コンサルティング会社)でビジネス・コンサルタントとして活躍中である。ただし、これらも終着点ではない。よう、バイタリティ、チャレンジ精神満点の2人が、これからどんなチャンスをつかまえるか、それが楽しみだ。(披露宴に招かれた国際大 渡辺雅信 筆)

本紙に記載の学年、冊数等は2〜5面は98年度、1〜6面は99年度のものですが、また2〜5面は3月31日発行の22号と共通です。ご了承下さい。

本紙に関するご意見、ご感想などをお待ちいたしております。電子メールもご利用下さい。 アドレス koho@oiu.ac.jp